

令和6年 木曽広域連合第4回定例会行政報告

令和6年11月29日

本日は、木曽広域連合第4回定例会を招集しましたところ、議員の皆さまには、何かとご多用の中、ご出席をいただきありがとうございます。日頃から木曽広域連合行政に対し、ご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

9月21日には低気圧と前線による石川県奥能登豪雨により能登半島では多くの犠牲者と甚大な被害が発生しました。被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、犠牲となった方々に、心よりご冥福をお祈りいたします。

先月執行されました大桑村村長、議会議員補欠選挙により、新たに坂家重吉（さかや しげよし）村長が就任され、議会からは瀬瀬悠乃（こうけつ ひろの）議員が広域議会議員に就任されました。これからいろいろとお世話になりますが、ご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

また、第50回衆議院議員選挙が10月27日に投票、即日開票されました。自民、公明両党は公示前の計288議席から大幅に議席を減らし、自民派閥裏金事件の非公認前職を含めても定数465の過半数を割り込みました。これからの政局に注視するところです。長野県4区からは後藤茂之先生が当選されました。心よりお祝い申し上げますと共に、益々のご活躍をご期待いたします。

また、大相撲九州場所では、御嶽海が6日目にケガをしたものの、休場することなく千秋楽まで戦いましたが、残念なことに勝ち越してできませんでした。今後の活躍に期待するところです。

それでは、8月定例会以降の各課の事務事業を報告します。

□総務課

- 令和7年度採用木曽広域連合一般職採用2次試験を9月22日に、消防職採用2次試験を10月27日に実施しました。一般職は埋蔵文化財担当職員1名を含む3名を、消防職員は3名の採用を予定しています。広域行政の発展のためご尽力いただきたいと思います。

本日午前中、木曽郡6町村・木曽広域連合及び企業2社による『ドローンを活用した連携・協力に関する協定』が渡邊木曽地域振興局長立会いのもと締結されました。近年飛躍的に技術が進むドローンを活用し、災害発生時に情報の収集、被災者の捜索・救助、救援物資の輸送など、要請に応じた速やかな支援が出来るよう締結したものです。

□地域振興課

○第2回目となる日本遺産木曽路サミットを、9月4日塩尻市奈良井宿において開催しました。構成文化財のひとつである「木曽踊りと木曽節」が木曽踊り保存会により披露され、市町村長、一般参加者も踊りに加わり会場を盛り上げました。サミットでは、文化庁・観光庁の職員にもご参加いただき、奈良井宿の保存と活用による地域活性化の事例をもとに日本遺産木曽路を活用したまちづくりや、文化財の活用についてパネルディスカッションが行われました。

○地域間交流事業では、8月から10月にかけて下流域自治体の住民参加による森林整備体験ツアーが開催され、8月30日の「春日井市森林整備作業体験ツアー」では28名が参加されました。あいにくの天候により森林整備作業体験は中止となりましたが、木祖村の味噌川ダムふれあい館、木曽町の木曽おもちゃ美術館の見学、木工体験を行いました。10月12日の「名古屋市民の森づくり」では37名が参加され、森林整備作業を木曽町戸立町有林で行いました。その後上松町の赤沢自然休養林へ移動し、森林セラピー等の体験プログラムで木曽の自然を満喫していただきました。

また、8月10日には名古屋市科学館での「木曽ひのきに触れるワークショップ」、10月19日・20日には「春日井まつり」で木曽ひのきの箸づくり体験及びボールプール遊び等により、木曽地域の森林を守り育む啓発活動を行いました。そのほか、郡内事業者による下流域自治体イベントへの参加により木曽地域の物産販売によるPRを行いました。

○元気づくり支援金を活用した観光PR事業として、8月17日・18日に兵庫県西宮市のららぽーと甲子園で木曽地域の観光・農産物のPR、木曽ひのきの箸づくり体験を行いました。10月4日・5日には名古屋市中日ビルで「木曽路観光・物産展 in 中日ビル」を開催し、木曽ひのきの箸づくり体験や出張木曽おもちゃ美術館、郡内事業者による物産販売等を行い木曽地域への誘客に取り組みました。

○第3回木曽地域公共交通活性化協議会が10月28日に開催され、公共交通再編に向けた木曽地域公共交通利便増進実施計画策定に関する中間報告について説明がされました。また、運賃に関する勉強会を開催し、再編後の幹線における運賃体系案について協議がされました。

□木曽文化公園

○9月は室内楽月間として、自主事業を開催しました。

1日（日）は、「ホルン合宿成果発表会」、7日（土）は、「信州大学交響楽団コンサート」、15日（日）は、「木曽吹奏楽フェスティバル2024」、29日（日）は、「音楽のおもちゃ箱 親子で楽しむ はじめてのクラシックコンサート」を開催し、郡内外から約700人に来場いただき、音楽をお楽しみいただきました。

- 10月25日（金）は、「八神純子ライブ」を開催し、県内外から450名あまりの方にご来場いただき、圧倒的な歌唱力とパフォーマンスをご堪能いただきました。
- 10月26日（土）は、木曽観測所サポーターズクラブの皆様と「天体観望会」を創造の原で行いました。天気にも恵まれ、天体ファンや親子連れの皆様に綺麗な星空をご覧いただきました。
- 11月17日（日）は、木曽郡公民館運営協議会と共催で「第63回木曽郡公民館大会講演会」を開催しました。この講演会では「自然を生かした建築の作り方」と題して、建築家の藤森輝信氏にご講演いただきました。
- 11月24日（日）は、「木曽ダンスフェスタ2024」を開催し、県内各地から580名の方にご来場いただき、木曽郡内外で活動されている皆様の芸術活動の発表・交流の場としてご活用いただきました。

□森林整備推進室

- 森林経営管理業務は、これまでに6町村で50団地4,080haの森林を調査し、30団地1,200haの経営管理権を取得。うち15団地394haの経営管理実施権配分計画の公告を終えました。引き続き構成町村と連携を図り、新規対象森林の集積計画・配分計画の策定に向けて調査を進めてまいります。

□健康福祉課

- 11月27日、全首長が長野県庁を訪問し、健康福祉部、県議会及び県立病院機構へ「木曽郡の医療充実に向けての支援」についての陳情活動を行い、医師、看護師等の人材確保、医療DXの積極的な導入とサポート体制の充実などを要望してまいりました。
- 10月22日には、「全国介護保険広域化推進会議」の総会が都内で開催され、介護保険制度充実を求める決議事項を要望書として、厚生労働省の黒田老健局長に提出してまいりました。

□建設課

- 9月5日、「木曽地域治水対策協議会」、「木曽郡町村会」では、木曽地域の治水対策及び公共土木施設整備促進に向けた要望を木曽郡町村議会議長会の皆様に同席いただき長野県建設部（新田建設部長他）へ要望活動を展開してまいりました。

- 9月30日、「木曽地域交通網対策協議会 木曽地域国道19号整備促進期成同盟会部会」並びに「木曽地域治水対策協議会」は、国土交通省飯田国道事務所（中川所長他）、木曽川上流河川事務所（齋藤所長他）、中部地方整備局（佐藤局長他）を訪問し、木曽地域の国道19号整備促進に関する要望及び木曽地域の治水対策事業の整備促進に向け、積極的な支援をお願いしてまいりました。
- 10月2日、「長野県南部国道連絡会」では正副会長（原会長）により吉岡 国土交通事務次官へ、木曽郡6町村長及び塩尻市長と山本 国土交通省 道路局長と面談し、国道（19号、256号、361号）の整備促進を要望いたしました。また、要望活動終了後には地元選出国會議員（後藤衆議院議員、宮下衆議院議員）との意見交換会が開催され長野県南部地域の国道の更なる整備促進に向けた貴重な意見交換が行えました。
- 10月3日、「木曽地域国道19号整備促進期成同盟会部会」、「木曽地域治水対策協議会」の首長により、国土交通省（藤巻 水管理・国土保全局長）、財務省（中山主計局次長）と面談し「国道19号の整備促進」及び「木曽地域の治水対策事業の整備促進」の更なる支援をお願いしてまいりました。
- 11月7日、中部5県で構成される「中部国道協会」（原副会長）では、中部国道協会促進大会が（東京都）開催され、木曽郡6町村長及び議会議長と共に出席してまいりました。大会終了後、正副会長による斉藤 国土交通大臣への要望活動に続き、国土交通省幹部（佐々木 道路局次長他）との意見交換会に出席し、国道19号の雨量通行規制区間の解消を含め、長野県南部地域の国道の更なる整備促進に向け要望してまいりました。

□情報センター

- 「自治体DX・ICT 利活用計画」について、第3回推進本部会議を10月30日に開催し「中間報告」がまとめられました。

今年度事業の進捗としては、「ペーパーレス会議システム」を実装しました。木曽広域連合議会でも今会議からご使用いただいております。

「回覧物等の情報共有化」については、年度末の実装に向けて業務を進めており、2月頃から住民説明等を行ってまいります。

「ドローンのルート・座標設定（災害対策インフラ整備）」事業は、現在、郡内に設定する着陸座標144か所全ての現地確認作業を進めており、年内には災害発生に際して効

果的なドローン支援を受けられる体制となります。

□環境センター

- 緑聖苑では、10月末現在 256 名の火葬を行いました。昨年同時期より 14 名多くなっています。8月以降の、新型コロナウイルス感染症の方は4名受け入れております。
- 環境センターのし尿受け入れ量は、10月末現在で 2,278 kℓ、浄化槽、農業集落排水は 6,200 kℓを受入れています。昨年同時期よりし尿が 42 kℓ増加、浄化槽関係が 269 kℓの増加となっています。また、汚泥集約センターの受け入れ量は、6,660 m³で、昨年より 30 m³減少しています。
- し尿貯留槽 B の修繕工事は、10月7日に竣工し 11月21日には、受入槽防触工事に着工いたしました。

□環境課・木曽クリーンセンター

- 木曽クリーンセンターの廃棄物受け入れ量は、10月末現在で可燃ごみ 3,000 t、不燃ごみ 214 t を処理し、リサイクルストックヤードでは、紙類 11,9 t、衣類 5.8 t、小型家電 23.9 t の資源物の搬入処理となりました。

○10月30日には町村環境担当者と木曽より搬出した焼却灰の現地確認に出向き、適正に埋立処理が行われていることを確認してまいりました。

□消防本部

- 本年 1 月から 10 月末までの火災出動は、12 件（2 減）でした。内訳は、建物火災 4 件（5 減）その他の火災 8 件（5 増）でした。また救急件数は、1464 件（100 増）で発足以来、最多件数となった昨年より更に増加しております。
- 本年度採用の職員 4 名は、4 月から約半年間の「県消防学校初任科研修」を終え、10月7日付辞令を交付して木曽消防署に勤務しております。
- 10月10日、令和 6 年度更新の「高規格救急自動車配車式」を木曽文化ホール前で行いました。10月25日に南分署に配備し、運用を開始しました。
- 10月19日、「消防フェア 2024」を大桑村で開催された「森の里の秋まつり」に大

桑村消防団と共催して出展し、181 名の方に防災体験をしていただきました。

- 救急隊が8月9日から 10 月8日まで実施したマイナ保険証を活用した実証事業では期間中 270 件の救急活動の内、34 件 12.6%（全国平均 8.8%）で実施しました。

今回、提出の議案であります、いずれの議案も人事院勧告に関連するものが主な内容で、条例改正2件、令和 6 度補正予算が3会計の3件、の全5件でございます。各議案につきましては事務局長から提案し、その詳細につきましては担当課長より説明します。なお、定例会の閉会後に全員協議会を予定しております。ご審議の程、ご理解を賜われますようお願い申し上げます、行政報告とさせていただきます。